

令和7年度 梨花幼稚園 自己評価結果公表シート

2026.06.01

1、本園の教育目標

- ①自分で考え行動できる人に
- ②優しさと感謝、思いやりのある人に
- ③人間味あふれる豊かな感情を持つ人に

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとにした学校評価の具体的な目標や計画

- ①壁面製作は、子どもの主体性を大切にし、学年毎に目標をきめ取り組む
- ②農育から、食べ物を大事にする心を育てる
- ③当園の自然豊かな環境を、地域の方々にも伝え、未就園児の親子にも来園頂ける機会を多く設ける
- ④保育参観の機会を増やし、保護者の方にも当園の教育についてより深く理解していただく

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
1、園内研修の積極的な取り組み	A	定期的に学年毎や全体で園内研修を行ない、教職員全体で共通理解して子どもたちに保育出来るよう努めている
2、未就園児イベントの充実を図る	B	ホームページやチラシを通して、未就園児向けのイベントがあることを発信し、子育ての楽しさや悩みの共有が出来る場を設ける。また、地域の子育て中の方々にとって安心して遊びに来れる場、情報交換の場として利用していただき、入園につなげていく。
3、災害時の対応訓練、設備の管理	A	昨年度に引き続き、災害時における避難訓練や設備の確認、対応マニュアルの見直しについては、担当者が都度確認を更新をする
4、子どもたちの健康管理のため、体力作りを図る	A	週に2回、園庭でマラソンを実施し体力作りの基礎を作っている。また、感染症の流行の時期には、各クラスで健康管理について改めて確認し、子どもたち自身で健康について考えるように促す。

5, 農育を通して、食べ物を大切にする心を養う	A	夏野菜や、さつまいも、じゃがいも等を育て、調理し、食べることを通して、食への関心を高めるとともに、食の大切さを伝える
6, 表現遊びを通して、自分の気持ちや思いを表現出来るようにする	A	1年間通してリズム遊びや表現遊びを通して、人前でも自己表現を楽しんで出来るよう活動を展開する

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

当園で力を入れている農育では、新たに畑を園庭の隣に作ることで、より子ども達が野菜の成長を身近に感じ、積極的に世話をすることが出来るようになった。また、表現遊びやリズム遊びの研修を園内で行なうことで、子どもたちの自己表現を保育士がしっかりと捉え、表現出来るように努めることが出来ている。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的取り組み方法
1, 園内研修の積極的な取り組み	園外研修等で学んできた研修内容を園内でも共有し、保育の質の向上に努める
2, 誰でも通園制度の導入や未就園児向けイベントを計画し、地域の子育て支援に関わる	地域にいる子育て世代の家族が来園できる機会を増やし、幼稚園を知っていただく機会を増やす。核家族化の中での子育ての手助けが少しでも出来るよう、様々なイベントを開催出来るように計画する
3, 災害に備え、職員の共有周知と避難訓練をする	定期的に行なう避難訓練は、様々な災害のパターンを想定して行なう。当園は、川が近いため水害のための避難経路についても、子どもたちや職員同士で理解し、災害に備える
4, 当園の教育目標である、「自分で考え自分で行動できる」保育活動を計画する	壁面製作や表現遊び運動会遊び等を通して、自己の表現が出来るよう保育者が活動を工夫し展開できるように努める。